

第 1 章**推進体制****1 連携・協力の確保**

「障害の有無によって分け隔てられることなく誰もが個人としての尊厳が重んじられ共生できる社会の実現」を目指すべく計画の推進を図るためには、市民や関係団体との連携・協力が不可欠です。市民等の要望・意見を施策の実施に反映させるよう努め、それぞれの情報を共有するとともに、自主的・主体的な取り組みを支援し協働による施策の推進を図ります。

国・県などの関係機関との連携を深めるとともに、適切な役割分担により、効果的な施策の推進を図るほか、各種制度の充実や財源の確保などをこれらの機関に要請します。

また周辺自治体と情報交換などを行うことにより、共通の施策の推進や課題についての検討を行ってまいります。

2 広報・啓発活動の推進

「障害の有無によって分け隔てられることなく誰もが個人としての尊厳が重んじられ共生できる社会の実現」を目指すためには、すべての市民が、障害及び障害のある人についての正しい理解と認識を持つことが重要です。

そのためには、さまざまな機会をとらえて、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、難病、高次脳機能障害等の障害特性や、性別や年齢等に応じた障害のある人についての正しい理解や認識のための広報・啓発を行うとともに、子どもたちから障害のある人とない人との交流などを促進していくことが必要となります。

障害のある人にかかわるボランティア活動については、障害のある人の地域社会での手助けになるのみならず、それにより障害のある人に対する理解を深めるという点で大変意義深く、多くの市民がボランティア活動に参加することが望まれます。

そのため、次の課題に沿って、必要な施策を推進します。

- (1) 広報・啓発活動の促進
- (2) 障害及び障害者理解の促進
- (3) ボランティア活動の促進

課題（1）広報・啓発活動の推進

項目	現状	施策の方向性
1. 広報媒体などによる推進	<p>「障害者記念週間」の時期にあわせて、広報ふなばし1面に障害及び障害のある人に対する理解促進のための記事を掲載しています。</p> <p>平成25年度においては、グループホームで生活する障害者の1日について掲載し障害者に対する理解の促進を図りました。</p>	<p>今後も掲載内容について創意工夫し、障害者に対する理解促進を図っていきます。</p> <p>[担当課] 広報課 障害福祉課</p>
2. 精神障害者に対する理解の促進	<p>地域での支援活動者や家族を対象とした講演会等を開催しています。また船橋市精神保健福祉推進協議会主催のこころの健康セミナーを年1回開催するほか、啓発用の小冊子を年1回発行し、精神障害者に対する理解の促進や精神保健福祉に関する正しい知識普及に努めています。</p>	<p>引き続き講演会等の開催により、精神保健福祉に関する正しい知識普及に努めるとともに船橋市精神保健福祉推進協議会を通じて精神障害及び精神障害者の理解の促進を図ります。</p> <p>[担当課] 保健所</p>
3. 障害者週間記念事業の実施	<p>12月3日から9日の障害者週間の行事として、障害のある人の作品展や映画の上映などを盛り込んだ障害者週間記念事業を開催し、障害及び障害のある人への理解の促進を図っています。</p>	<p>引き続き障害者週間記念事業を開催し、障害及び障害のある人への理解の促進を図ります。</p> <p>[担当課] 障害福祉課</p>

課題（2）障害及び障害者理解の促進

項目	現状	施策の方向性
1. 交流保育の推進	定期的な交流保育を行うため、平成25年4月から「船橋市交流保育実施要領」を策定し、交流保育を行っています。	引き続き療育施設の発達支援児と保育園児が地域の中で育ちあうことを目的とした、公立保育園と療育施設との交流保育を行っています。 [担当課] 保育課 療育支援課
2. 地域交流の推進	小規模作業所の船橋北ロデッキ広場での生産物販売実施のための支援や地域活動支援センターでの公園清掃・廃品回収や文化祭等の地域への開放を行っています。	引き続き地域交流活動を推進していきます。 [担当課] 障害福祉課 総合教育センター
3. 特別支援教育振興大会の開催	特別支援教育振興大会として、 特別支援学校 合同作品展、 特別支援学級・特別支援学校 合同発表会、 教育振興大会 教育講演会 を開催しています。	引き続き特別支援教育振興大会を開催していきます。 [担当課] 総合教育センター
4. 障害福祉施設などとの連携	船橋市障害福祉施設連絡協議会や船橋障がい者地域福祉連絡会の会議に出席するなど障害福祉施設などとの連携を図っています。	引き続きこれらの協議会や連絡会との連携を深めていきます。 [担当課] 障害福祉課

項目	現状	施策の方向性
5. 学校教育における福祉教育の推進	<p>福祉教育推進校を中心に、地域での研究・実践を深めています。</p> <p>また、特別支援学校に在籍する児童生徒が居住地の小学校の特別支援学級や通常の学級との交流を行っているほか、特別支援学級と通常の学級の交流も行っています。</p>	<p>福祉教育推進校を中心に、総合的な学習や特別活動の時間において福祉教育の充実を図る内容を取り上げるほか、運動会や合唱祭など体育行事や文化行事において交流の場を設けていきます。くなどまた、交流及び共同学習についても推進していきます。</p> <p>[担当課] 指導課 総合教育センター</p>
6. 生涯学習における福祉教育の推進	<p>身体障害者福祉センターの福祉講座やまちづくり出前講座の実施により障害及び障害のあるひとへの理解の促進を図っています。</p>	<p>引き続き福祉講座の充実やまちづくり出前講座を活用し理解の促進を図っていきます。</p> <p>[担当課] 障害福祉課 社会教育課</p>

課題（3）ボランティア活動の促進

項目	現状	施策の方向性
1. ボランティアの養成	<p>身体障害者福祉センターの福祉講座や、市民大学校のボランティア入門学科の講座によるほか、社会福祉協議会や精神保健福祉協議会とも連携してボランティア養成講座を開催するなどボランティアの養成を図るほか、ボランティア養成の支援を行っています。</p>	<p>引き続き福祉講座やボランティア養成講座、関係機関と連携しボランティアの養成を図っていきます。</p> <p>[担当課] 保健所 地域福祉課 障害福祉課 社会教育課 公民館</p>

項目	現状	施策の方向性
2. ボランティア登録の推進	ボランティア活動の促進のため、ボランティアセンターやNBFクラブなどのボランティア登録を推進しています。	引き続きボランティア登録を推進します。 [担当課] 保健所 障害福祉課
3. ボランティア活動の支援	<p>市民活動サポートセンターにて利用登録団体に打合せスペースの提供や情報発信の支援をしています。</p> <p>また市民公益活動公募型支援事業やボランティア団体等と協力して事業を行っているほか、ボランティア活動に対する支援を行っています。</p>	<p>引き続き市民活動サポートセンターにおいてボランティア活動を支援するほか、ボランティア団体等と協力しての事業の実施や、ボランティア活動に対する支援を行っていきます。</p> <p>[担当課] 市民協働課 保健所 地域福祉課 障害福祉課</p>

3. 進捗状況の管理及び評価

本計画の施策の実施については、**障害者**障害のある人やその家族を始めとする関係者の意見を聴きつつ、各論で示した施策の方向性に沿うよう、また本計画の（別表）成果目標を達成するよう、計画的な施策の実施に努めます。

本計画の着実な推進を図るため、毎年度の実施状況及び効果を把握・評価し、船橋市自立支援協議会に報告するものとします。またそれらの結果に応じ取り組みの見直しなどを行ってまいります。

社会情勢の変化等により、あるいは本計画の進捗状況及び効果の把握・評価を通じて本計画の変更の必要性が生じた場合には、対象期間の途中であっても本計画の見直しを行うものとします。